

2026年・年頭のご挨拶

(公社) 日本技術士会中国本長
福田直三



新年あけましておめでとうございます。

皆様には平素より（公社）日本技術士会中国本部（以下中国本部）の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、中国本部では昨年主要の2行事を開催しました。一つは昨年7月12日の創立60周年の記念式典です。この記念誌は「未来へのさらなる飛躍～連携・交流による活動の活性化～」と題し、11委員会・8合同部会・3県支部（鳥取・岡山・山口）および島根県技術士会から、これまでとこれから約10年を紹介しました。また、常田賢一大阪大学名誉教授により「専門知の深化：個別最適&全体知への展開；全体最適、防災・減災、国土強靭化の展開のために」の記念講演を頂きました。

もう一つは、11月14日及び15日、中部、近畿、四国、九州の4本部の協力による第29回西日本技術士研究・業績発表年次大会（広島）の開催です。大会テーマは「科学・技術と社会の橋渡し」～技術士の活躍とこれからの役割～とし、記念講演は元NHKプロデューサー・現近畿大学教授総合社会学部の村松秀教授から、同テーマで「コトづくり」です。科学・技術が世の中に与えている影響は大きい今こそ橋渡しの役目が強く求められ、人の心を動かし豊かにしていくコトづくりが大事だとのメッセージでした。以上二つの行事には、多くのご来賓のご臨席とご後援を賜りました。

そのほか、建設部会および応用理学部会の10周年記念事業として講演会を開催しました。

さて、中国本部の主要事業は技術士の資質向上・発展のための継続研鑽（CPD）の機会提供とともに、社会貢献として、小中学生への理科教室、大学・高専学生への技術士サロン、地域防災に関する地域支援、さらには中小企業への支援（広島県中小企業団体中央会の会報（月刊誌）～2022年からの連載）にも多様な専門技術士が取り組んでいます。

2026年の中国本部の主要事業は第46回地域産学官と技術士との合同セミナーの開催です。中国本部は統括本部やほかの地域本部とも連携し、新技術士CPD制度、コンピテンシーおよび倫理綱領改定（以上2021）、また、日本技術士会DEI宣言（2025）を踏まえ、多様な専門技術士が活躍し、社会貢献する事業展開に引き続き取組みます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、幸多き年となりますことを祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。